

第86期 中間事業報告書

平成31年4月1日から
令和元年9月30日まで



フクビ化学工業株式会社

証券コード：7871



株主の皆さまにおかれましては、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申しあげます。

ここに第86期第2四半期の営業の概況と決算の状況をご報告するにあたり、一言ご挨拶申し上げます。

業績全般の概況

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善が続く一方で、企業収益は人件費や運送費などのコスト増加等が影響し足踏み傾向にあり、また輸出、生産も横這い圏での推移となるなど、引き続き回復の動きが鈍る展開となりました。但し、個人消費は消費税増税前の一時的な駆け込み需要もあり緩やかに持ち直していることから、景気は、弱さが見られるものの回復基調が維持されています。一方、資源価格の変動や人件費の増加、また各国間の通商問題や政治的混乱など海外情勢の不透明感、金融資本市場の変動等には、今後も引き続き留意が必要な状況です。

住宅業界におきましては、消費税増税前の駆け込み需要がわずかに留まったことや、融資審査の厳格化による貸家の落ち込み幅が大きく、全体の着工戸数の減少に影響を及ぼしました。その結果、平成31年4月～令和元年9月の新設住宅着工戸数は、戸数467千戸（前年同期比5.0%減）、床面積38,971千㎡（同0.4%減）となりました。

このような環境のもと、当社グループでは、第5次中期経営計画「Vision2019 CHALLENGE & CHANGE 目指せ100年企業!」（2017年度～2019年度）の最終年度として、下記の3つの基本方針に則り具体的施策を実践しております。

・成長分野への積極展開

エンジニアリングセールス（技術提案型営業）を継続拡大し、新製品の機能性やデザイン性、施工性の提案活動を推進しています。消費税率改定に伴う新築戸建ておよびリフォーム分野の駆け込み需要の取り込みに加

え、非住宅分野に注力し、集合住宅や施設向け製品である人工木材・乾式二重床といったシステム建材の販売を進めました。

・生産性向上による利益の創造

生産性向上による収益の改善を図るため、働き方改革における事務作業（非営業工数）の削減や、昨今の運送費高騰への対策および物流機能強化として加工拠点・在庫拠点の変更、梱包の簡素化を実施する等の取り組みを進めております。また業務の平準化やデジタルの活用による作業の合理化、工場再編による生産効率の改善も引き続き進めました。

・挑戦と変革を実現する経営基盤の確立

中期経営計画に基づき整備された人材育成制度や新昇格制度がスタートしており、今期も順調に運用されています。

以上により、当第2四半期連結累計期間の売上高は20,657百万円と前年同期に比べ4.0%の増収となりました。

一方、利益面につきましては、米中貿易摩擦による自動車産業の落ち込みを受けた産業資材事業における車載用製品の減少、および深刻な人手不足に伴う物流費の高騰などにより、営業利益579百万円（前年同期比25.9%減）、経常利益682百万円（同22.4%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益467百万円（同22.4%減）となりました。

事業別の売上状況は、以下のとおりであります。

A. 建築資材事業

主力の建築資材事業の売上は、15,471百万円（前年同期比9.5%増）で、売上高全体の74.9%を占めました。非住宅・リフォーム・組織需要家の3つを重点分野と定めて、拡販活動に取り組みました。

うち外装建材は、2,790百万円（同1.5%増）でした。換気部材、外装装飾部材が伸び悩みましたが、樹脂製瓦棧は順調に推移しました。

内装建材は、6,384百万円（同15.1%増）でした。養生材・樹脂開口枠が順調に推移し、また高性能断熱材フェノバボードの製造販売を本年1月に開始したことに伴い、売上は大きく伸長しました。

床関連材は、4,123百万円（同2.4%増）でした。床支持具の売上が減少しましたが、非住宅・組織需要家への販売を積極的に推し進めたことにより、乾式遮音二重床システム部材や樹脂系床仕上材が順調に推移しました。

システム建材は、2,173百万円(同20.8%増)でした。ビルダーや非住宅向けへのエンジニアリングセールスが奏功し、請負工事付きの木粉入り樹脂建材が売上増加に寄与しました。

B. 産業資材事業

産業資材事業の売上は、5,185百万円(同9.7%減)で、売上高全体の25.1%を占めました。販売拡大に取り組んだ結果、住宅設備部材や窓枠は順調に推移しました。また、精密分野では、低反射パネルの技術革新による製品機能の向上と顧客への付加価値の提供に注力しておりますが、米中貿易摩擦の影響による自動車産業の落ち込みを受けて、主軸の車載用製品が減少しました。

資産、負債および純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ1,014百万円(前期末比2.1%)増加し、49,400百万円となりました。主な増減要因としては、流動資産では、現金及び預金が1,813百万円増加した一方で、受取手形及び売掛金が1,554百万円減少、また電子記録債権が734百万円減少したことなどにより、353百万円(同1.0%)の減少となりました。固定資産では、有形固定資産が1,537百万円増加、また投資その他の資産が163百万円減少するなど、1,368百万円(同9.4%)の増加となりました。

負債は、前連結会計年度末に比べ866百万円(前期末比5.0%)増加し、18,269百万円となりました。主な増減要因

としましては、流動負債では、支払手形及び買掛金が546百万円減少、また未払法人税等が159百万円減少した一方で、流動負債その他に含まれる設備関係支払手形が1,725百万円増加するなど、885百万円(同5.5%)の増加となりました。固定負債では、繰延税金負債が21百万円減少するなど、19百万円(同1.4%)の減少となりました。

純資産は、前連結会計年度末に比べ148百万円(前期末比0.5%)増加し、31,132百万円となりました。その他有価証券評価差額金が89百万円減少、また退職給付に係る調整累計額が24百万円減少しました。株主資本合計は、利益剰余金が262百万円増加したことにより、29,357百万円となりました。この結果、自己資本は30,559百万円となり、自己資本比率は61.9%となりました。

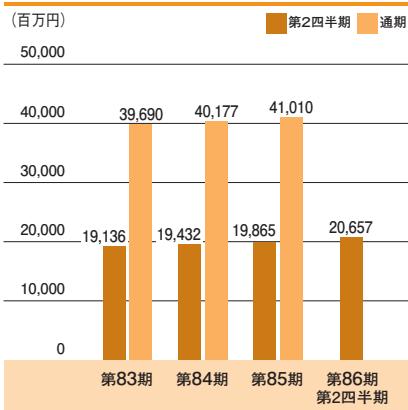
なお、米中貿易摩擦や中国経済減速の長期化、国内消費税増税後の景気動向等が不透明であるため、令和2年3月期通期の業績予想につきましては変更していません。今後の業績動向を踏まえ、修正が必要と判断した場合には、速やかに公表いたします。

株主の皆さまにおかれましては、何卒一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

令和元年12月

代表取締役社長 **八木誠一郎**

●連結売上高



●連結経常利益



●親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益



令和元年6月～の主なTOPICS

ベトナム最大の展示会「ベトビルド」に 初出展しました

令和元年
6.19-23



5月に新工場が稼働開始したフクビベトナムでは、現地への建材マーケティングの活動として、ベトナム最大の建材展示会「ベトビルド」に出展しました。

地元ベトナムを中心に多くのお客様にお越しいただき、当社の製品に高評価をいただきました。

精密事業部の新工場が完成しました

令和元年
6.21



自動車のメーターパネルなどに使用する低反射・高透明樹脂パネルの需要増に対応するため、精密事業部の新工場を建設しました。

今回導入した新しい設備では、これまで対応できなかった幅広サイズの製品の製造が可能となりました。これにより、更なる多様な市場ニーズにお応えしてまいります。

名証IRエキスポ2019に出展しました

令和元年
7.19-20



昨年に引き続き、名古屋証券取引所主催の名証IRエキスポ2019に出展しました。

今回も2日間で約8,500名と多くの個人投資家が来場され、当社ブースでは2日間で計8回の説明会を開催しましたが、各回とも満席となるなど、たくさんの投資家の方々にぎわいました。

フクビ化学・リフォジュール・アリス化学の 3社協賛によるコンサートを開催しました

令和元年
7.26



当社が進める地域貢献活動の一環として、ハーモニーホールふくいにて行われた「ロシア国立交響楽団 名曲コンサート」に、当社グループとしては初の冠協賛をいたしました。

当日は大ホールがほぼ満員となる盛況ぶりで、「赤いカラヤン」と呼ばれるポリヤンスキー氏の情熱あふれる指揮と演奏で、会場は大いに盛り上がりました。今後も引き続き、地域の皆さまへの貢献活動を展開してまいります。

第2回子ども参観日を開催しました

令和元年
8.20

昨年に引き続き「子ども参観日」を開催し、7組7名の社員のお子さまが参加しました。本企画は、子どもたちに親の働く姿や仕事内容を見せる・聞かせることで、家庭内での仕事理解を深め、子どもたちの職業観を育むことを目的としています。

当日は、工場見学や親の職場訪問などを行い、会社の内容や、お父さん・お母さんはどんな仕事をしているかについて理解を深めました。



お取引先の方々をお招きして「フクビ建材会」を開催しました

令和元年
9.19

新装間もないオークラ東京にて、総勢90名近くのお取引先の方々に全国各地からお集まりいただき、「フクビ建材会」が盛大に催されました。

ホテル内の見学ツアーやフクビ八木社長からの挨拶の後、著名な建築家である隈研吾氏による「オリンピック後の建築・都市」をテーマとした講演会が行われました。

この会は3年ごとに催されており、次回は令和4年(2022年)に開催予定です。



新商品「越柊(こしゅう)」が2019年度のグッドデザイン賞を受賞しました

令和元年
10.2

10月発売開始の新商品「不燃手すき和紙化粧板 越柊(こしゅう)」が、2019年度グッドデザイン賞を受賞しました。福井県の伝統工芸品である手すき越前和紙にコーティングを施し、酸化マグネシウム板と複合し大判パネルとしました。手すき和紙の質感をそのまま残しながら、当社でコーティングし耐久性を高め、着火時の発熱量を抑えることにより不燃材料の大臣認定を取得しています。

同じ県内企業の株式会社杉原商店の手すき越前和紙を使用しており、2社共同で応募した結果「従来使用できなかった多くの環境において和紙の魅力を伝えることが可能になる」と高く評価され、受賞に至りました。



福井から発信するモノづくり ーフクビ新商品のご紹介

不燃手すき和紙化粧板

Japanese paper decorative board

越 終
こ しゅう

近年増加する訪日外国人は年間3,000万人を超えています。このようなインバウンド需要に対し、国内ホテルや商業施設の建築空間にも日本の伝統美を前面に打ち出したデザインが増えております。演出素材のひとつとして和紙がありますが、可燃性と施工性から課題もありました。

そこで今回、福井県の伝統工芸品である手すき越前和紙にフクビ独自のコーティング技術を施し、簡単に施工できる「不燃手すき和紙化粧板 越終(こしゅう)」を開発しました。環境共生と地方創生に貢献する日本の伝統美を当製品からお届けします。



千五百年の伝統
越前和紙



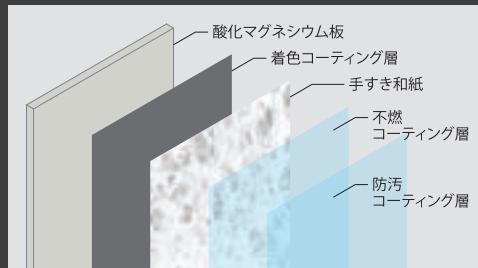
日本の伝統美を表現できる素材、「手すき和紙」。なかでも最も歴史の古い越前和紙は、職人が手で一品一品製作します。本物の手すき和紙を使った越終は現代建築のデザインの幅を広げ、日本の伝統工芸品の可能性を広げます。

簡単な施工方法

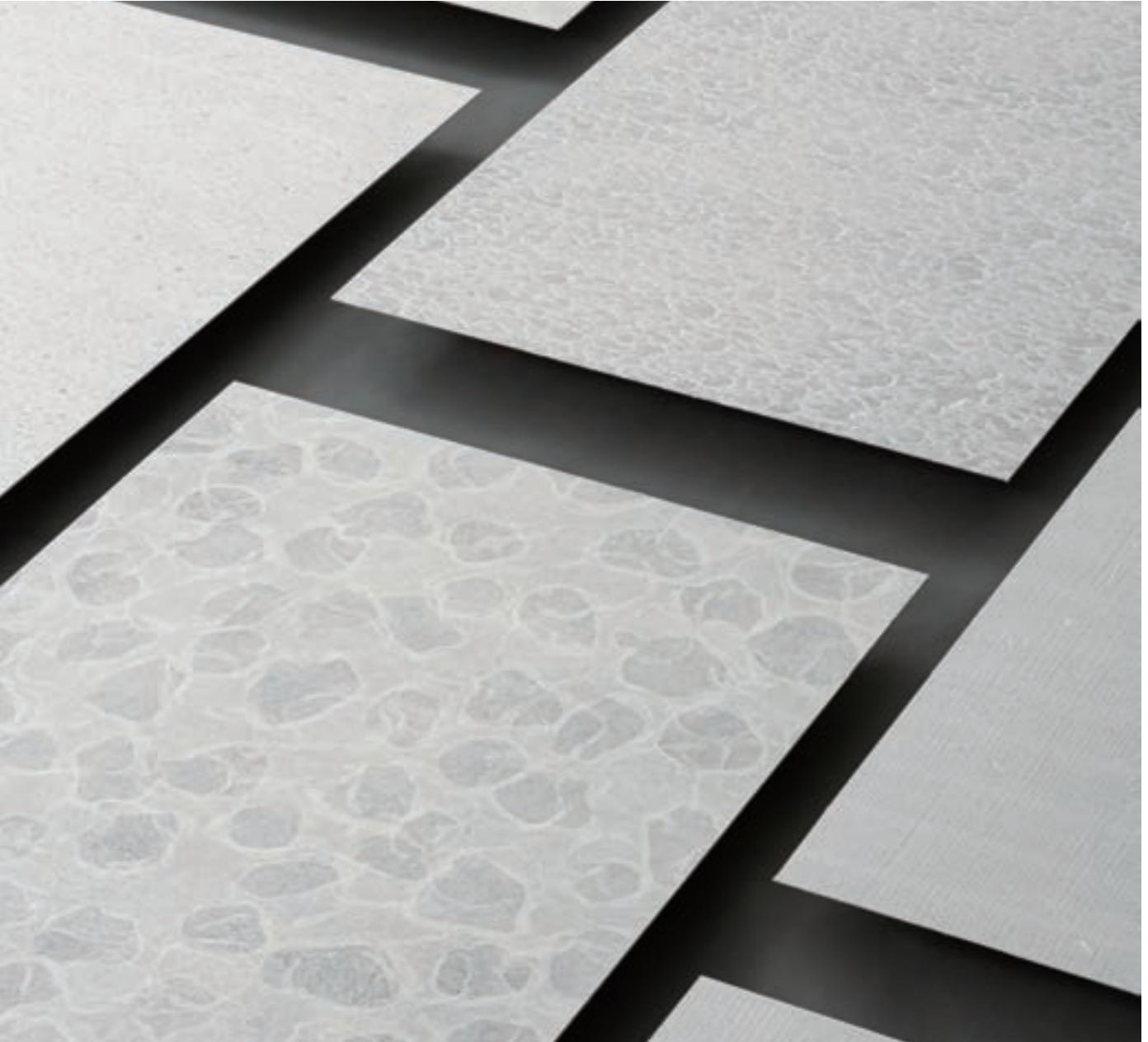


施工は一般的な化粧板と同じく、両面テープと接着剤で行えます。超硬チップソーを取り付けた丸ノコでカットもでき、専用の見切材で小口も綺麗に納まります。専門の職人による手すき和紙の施工を簡単にすることで、国内外における日本の伝統美の発信に貢献します。

不燃を実現した
コーティング技術



今まで建築材料として使用することが難しかった手すき和紙に、フクビのコーティング技術によって、不燃と防汚の効果を付与することができました。和紙の手ざわりもそのままに、本物の和紙空間をお届けします。



株主様工場およびショールーム見学会のお知らせ

当社では、株主の皆様により一層当社へのご理解を深めていただくため、工場およびショールーム見学会を下記の内容で開催いたしますので、ご案内申し上げます。

株主様工場およびショールーム見学会のお知らせ

日 時	令和2年3月24日(火) 13:00~17:00
場 所	フクビ化学工業株式会社 本社(福井市三十八社町33-66) 本社工場 および ショールーム
見学会内容	本社工場、ショールームの見学、質疑応答など。 ※ご見学時は、1時間程度(予定)の徒歩移動、バスの乗り降りや階段の昇り降りがございますので、ご了承願います。
募集人数	40名様(ご同伴者様含む) 令和元年9月30日現在、当社株式100株以上ご所有の株主様。株主様以外にご同伴者様を希望する場合は、1名様のご同伴が可能です。なお、安全上の配慮から、ご同伴者様は中学生以上とさせていただきます、また当日申し込みはお受けできません。
参加費用	無料 ※集合・解散(JR福井駅東口を予定)までの往復交通費・宿泊費等は、株主様のご負担となりますので、お申込みいただく場合には、ご了承願います。 ※集合・解散場所の往復は当社手配のバスでご移動いただけます。
その他	※駐車場のご用意はございませんので、恐れ入りますが、当社へのお車での直接のご来場はご遠慮願います。 ※株主様ご本人からのご応募でない場合、ご応募は無効とさせていただきます。



前回開催の様子



お申込み方法

見学をご希望されます株主様は、同封の「株主様工場およびショールーム見学会 応募はがき」に必要事項をご記入いただき、令和2年1月6日(月)必着にてご応募ください。郵送料につきましては、株主様にてご負担くださいますようお願いいたします。

※個人情報保護のため、同封の保護シールを個人情報記載欄の上に貼付のうえご投函ください。
※お申込者多数の場合は抽選とさせていただきます。厳正な抽選のうえ、当選発表は当選者への発送(令和2年1月下旬発送予定)をもって代させていただきます。その際、当日の運営等詳細を併せてご連絡いたします。

記入例

<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> お手数ですが 63円切手を お貼りください。 </div>	郵便はがき 9 1 8 - 8 5 8 5	福井市三十八社町33-66 フクビ化学工業株式会社 広報・IR推進室 行
●裏面に必要事項をご記入のうえ、令和2年1月6日(月)必着にてご返送ください。ようお願い申し上げます。 ●個人情報保護のため、同封の保護シールを個人情報記載欄の上に貼付のうえご投函ください。 ●ご応募により当社が取得する株主様の個人情報につきましては、本工場およびショールーム見学会を実施するうえで必要の範囲内においてのみ使用いたします。		

FUKUVI

株主様工場およびショールーム見学会 応募はがき

株主様見学会(詳細は同封の「中間事業報告書」をご覧ください)にご参加を希望される株主様は、本「応募はがき」に必要事項をご記入のうえ、令和2年1月6日(月)必着にてご返送ください。

株主番号 (9桁)	同封の「配当金計算書」右上に記載の9桁の数字								
	1	2	3	4	5	6	7	8	9
株主様お名前	ふりがな ぶくび たろう								
	福美 太郎								
〒918-8585	福井		都府	福井市					
ご住所	三十八社町33-66								
性別	男		女	年齢	50 歳				
電話番号	0000-00-0000								

ご同伴者様 (1名まで)

ふりがな ぶくび はなこ

お名前 福美 花子

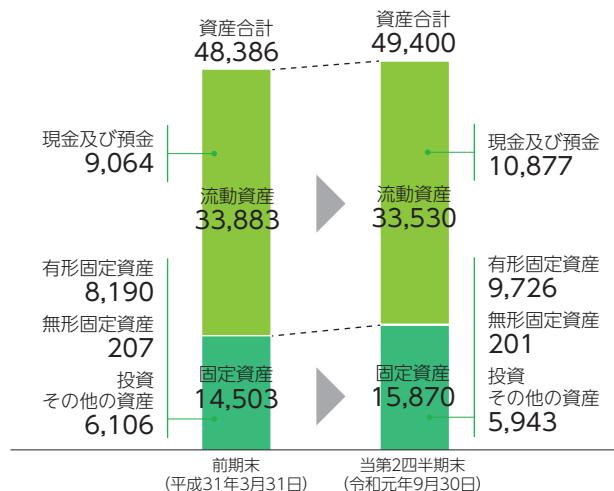
性別 男・女 年齢 50 歳

ご送付先およびお問合せ先

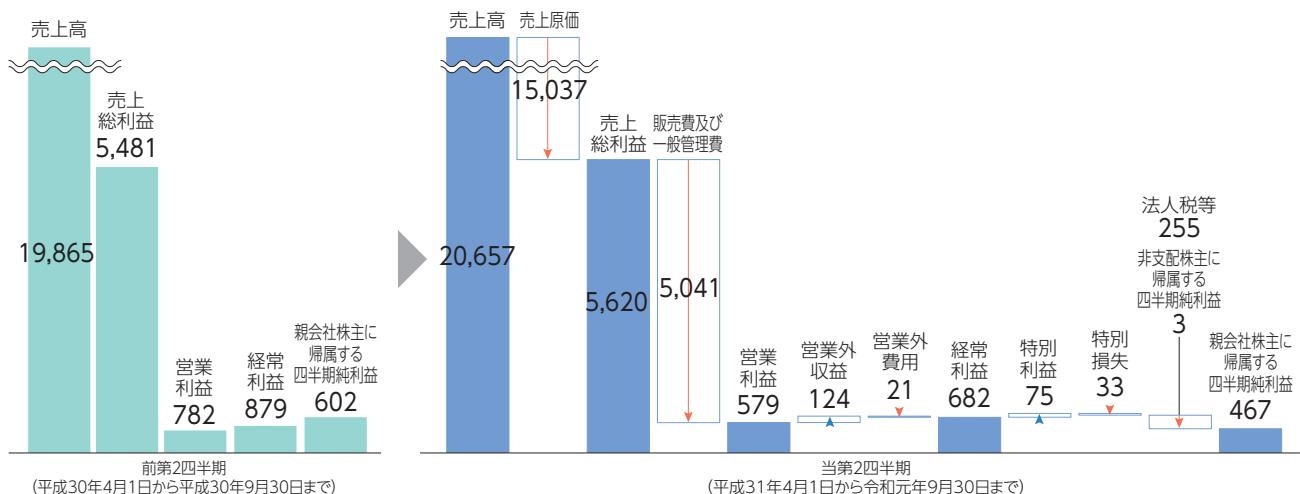
〒918-8585 福井市三十八社町33-66 フクビ化学工業株式会社 広報・IR推進室
TEL: 0776-38-8415 8:30~17:00(土日・祝日、当社休日を除く)

連結財務諸表の概要

【資産の状況】 (百万円)



【損益の状況】 (百万円)



会社の概要

会社の概要

(令和元年9月30日現在)

創 立 昭和28年5月25日

資 本 金 21億9,390万円

U R L <https://www.fukuvi.co.jp/>

主要な事業品目

建 築 資 材

外 装 建 材 セミックス(窯業系不燃外装材)、コンパルソリー(耐候性樹脂製外装材)、左官定木、エコランバー、換気材、スーパーエアテックス(防風透湿シート)、土台パッキン、エクラート(FRP製外装装飾材)、ウエザータイト(防水部材)、耐震関連部材

内 装 建 材 バスパネル(浴室用パネル)、見切、内装下地材、点検口枠、アルパレージ、樹脂開口枠、養生材、フェノバボード・フクフォーム・フクフォームEco(断熱材)、ケンジュール(人工大理石)、越柵(不燃手すき和紙化粧板)

床 関 連 材 クッションフロア、床タイル、フリーフロア、乾式遮音二重床システム、OAフロア(フリーアクセスフロア)、機能束(プラ束、鋼製束)

システム建材 エアサイクルシステム、リフォジュール(リフォーム天井システム)、アリダン工法(防蟻工法)、プラスッド(木粉入り樹脂建材)、メルツエンサッシ内窓

産 業 資 材

樹 脂 サ ッ シ 窓枠、浴室用ドア

産 業 機 器 車両部材、住宅設備部材、機器部材、仮設部材、精密化工品

役 員

(令和元年9月30日現在)

代 表 取 締 役 八 木 誠一郎
社 長 執 行 役 員

代 表 取 締 役 采 野 進
副 社 長 執 行 役 員

代 表 取 締 役 大 畑 忠
専 務 執 行 役 員

取 締 役 岩 淵 滋 群栄化学工業株式会社社外取締役

取 締 役 奥 島 孝 康 白鷗大学学長 早稲田大学元総長

取 締 役 諫 山 滋 三井化学株式会社 常勤監査役

取 締 役 執 行 役 員 大 野 繁

取 締 役 執 行 役 員 加 川 潤 一

取 締 役 執 行 役 員 柴 田 寿 裕

取 締 役 執 行 役 員 豊 嶋 雅 子

常 勤 監 査 役 川 瀬 慎一郎

監 査 役 玉 井 三千雄 あおぞら経営税理士法人 代表社員

監 査 役 藪 原 孝 夫 藪原孝夫税理士事務所

顧 問

顧 問 長 瀬 洋 長瀬産業株式会社 代表取締役会長

顧 問 森 克 則 三井物産プラスチック株式会社 代表取締役社長

顧 問 小 田 英 治

化学のチカラで、想いをカタチに。

企業理念

- ・化学に立脚し、新たな価値を創造、提案する。
- ・企業経営を通じて、地域に貢献し、環境共生型社会形成に寄与する。

中長期ビジョン

- ・新たな技術開発と市場創造に絶え間なく挑戦し、快適な社会の実現に貢献する。
- ・一人一人の成長と企業の成長が一体となることで、喜びを実感できるフクビグループを目指す。

株 主 メ モ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月に開催いたします。
基準日	定時株主総会の議決権 3月31日
期末配当	3月31日
中間配当	9月30日
	※その他必要がある場合は、あらかじめ公告する一定の日
公告方法	電子公告により行います。 ただし、電子公告によることができないやむを得ない事由が生じた場合は、日本経済新聞に掲載いたします。
	https://www.fukuvi.co.jp/
上場証券取引所	東京市場第2部・名古屋市場第2部

単元株式数	100株
株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人事務取扱場所	大阪府中央区北浜四丁目5番33号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
郵便物送付先（電話照会先）	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-782-031 (フリーダイヤル)

ご注意

未受領の配当金につきましては、三井住友信託銀行全国本支店にてお取扱いいたします。

独自の技術で未来をひらく



この事業報告書は、環境に配慮し、植物油インキを使用しております。

